

(低圧)

記入例 KPR-A56-KS

系統連系保護協調チェックリスト

- ・ご契約名義 _____ ・常時逆潮流 ☒ 有 ・ 無
 ・発電設備種別 自励式インバータ ・ その他 () ・ 発電設備容量 _____ kW

No.	チェック項目	申請リー等	判定基準	チェック結果（電力会社記入）
1	保護継電器の種類と設置相数	Ry. Dev	特 例 事 項 等	補 足 説 明 (非適合の理由等)
	構内事故			
	OCR-H		・ MCB または ELCB で可	
	OCGR		・ ELB または ELCB で可	
	電力品質			
	UVR	27	・ α : 3 相-3、単 3-2、単 2-1	α
	OVR	59	・ β : 3 相-2、単 3-2、単 2-1	β
	UFR	95L		1
	OFR	95H	・ 逆潮流がある場合に限る	1
	単独運転 検出機能	動作説明を 添付のこと	・ 逆潮流がある場合に限る ・ 能動的方式、受動式方式それぞれ 1 方式以上を採用	
	逆充電 防止機能		・ 逆潮流がない場合に限る ・ UPR による逆充電防止機能の設置 n : 3 相-3、単 3-2、単 2-1 (単相負荷のない場合 3 相電力の合計でも可) ・ 単独運転検出機能でも可	n
	R P R		・ 逆潮流がない場合に限る ・ UPR による逆充電防止機能を設置すれば省略可 (単独運転検出機能採用時は必要)	1
	投入ロック	有	・ 電力系統停止中は投入できないこと ・ 復電後 300 秒間は投入できないこと	
2	遮断 CB	CB有	・ 受電用 CB (配線用遮断器) または発電用 CB を遮断させる ・ CB は発電設備からの最大短絡電流が遮断可能であれば電磁接触器でも可	
3	絶縁変圧器	トランスレス 直流非接地 検出器有	・ 次の両条件を満足する場合、省略可 ① 直流回路が非接地または高周波変圧器を用いる場合 ② 交流出力側に直流検出器を備え、直流検出時に交流出力を停止する機能を持たせる場合	
4	継電器の整定値		・ お客さまで、判る範囲でチェックのこと	
5	保護ブロック図		・ 理論的に不合理がないこと	
6	漏電遮断器		・ 逆接続可能型	

- ・ 各保護装置の性能は、公的機関の認証 (JET 等)、工場試験結果等で確認する。